

救急医療専門部会での主な意見について

1 開催日時

平成28年8月3日（水） 午後8時～9時20分

2 委員等

(1) 委員

区分	氏名	役職等
医療関係者	三和 秀輔	姫路市医師会 副会長
	本郷 彰裕	姫路市医師会 理事
	久呉 真章	姫路赤十字病院 第一小児科部長
	磯部 尚志	姫路医療センター 救急科医長
	中村 雅彦	製鉄記念広畑病院 姫路救命救急センター長
	神頭 勝	姫路全外科医会代表
	日高 康博	姫路市整形外科医会代表
行政関係者	河原 啓二	姫路市 医監
	甲良 佳司	姫路市 健康福祉局長

(2) オブザーバー

区分	氏名	役職等
医療関係者	山本 一郎	姫路市医師会 会長

3 主な意見

- ・ 小外傷に対する対応については、平日は受け皿となる医療機関がある程度複数あるので、以前よりは良くなっている印象がある。
- ・ 「外科系一次救急に関するアンケート調査」の結果を見ると、多くの医療機関でそれぞれの規模に応じて小外傷に対応していただいていることが分かる。
- ・ 整形外科の輪番体制は、協力していただける医師が増えてきている。小外傷の一部については、整形外科の輪番体制でも対応できているのではないかな。
- ・ ただし、日曜・祝日や平日の深夜帯では、小外傷の受け入れが十分でないことが推測される。
- ・ 多くの医療機関では、在宅輪番や定点を定める体制整備が必要と考えつつも、自らの参加は難しいとの回答が多かった。
- ・ 在宅輪番等で対応するにしても、1・2割程度の医療機関の参加では、手上げ方式を採用しても現場は回らないと思う。8・9割程度の医療機関の参加がなければ難しいのではないかな。
- ・ 深夜帯など時間帯によっては、小外傷の患者を新県立病院でも受けていただく必要があるのではないかな。